



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 9号

令和7年10月28日

目指す子供の姿

やさしく かしく たくましく

地域を学び、愛する子供

《特集号》

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年度4月、6年児童を対象として「令和7年度全国学力・学習状況調査」が実施され、個人の結果については、7月に配布されています。今年度は、教科に関する調査（国語、算数、理科）と質問紙調査（児童の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート）が実施されました。

これは、6年児童のみに実施されたものであり、また、この調査によって測ることができるのは、児童の姿の一面です。しかしながら、調査結果は本校児童の学力・学習状況の傾向として捉えることができるものとも考えます。全教職員で結果をしっかりと分析し、これまでの指導の成果や課題を明らかにすることにより、全学年の授業改善につなげ、本校児童のさらなる学力向上に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

6年児童が取り組んだ調査問題・解説等の詳細については、国立教育政策研究所のHP（<https://www.nier.go.jp/>）で公開されています。ぜひ、ご覧ください。

学力の土台は「安定した心と元気な体」

子供たちが意欲的に学習に取り組むためには、安定した心と元気な体が必要です。心が不安定になると、物事に集中できなかつたり、すぐにくじけてしまつたりしがちです。また、体が元気でないと、がんばる気持ちや挑戦しようとする気力もわいてきません。子供は、周囲からの温かい励ましや見守りによって自尊感情（自己肯定感）を高め、安定した心を育てていきます。早寝・早起き・朝ご飯等の規則正しい生活習慣は、元気な体をつくります。まずは、学習に取り組む土台となる子供たちの生活や心の状態を見つめ直したいと思ひます。

荻生小学校では、子供たちが生き生きと成就感を味わいながら学校生活を送ることができるよう、「笑顔いっぱい学びいっぱいの学校づくり」や「分かる・できる・楽しい授業づくり」に努めています。ご家庭でも、保護者向けリーフレット「荻っ子のやくそく」や「家庭学習の充実に向けて」等を参考に、望ましい生活習慣の定着や家庭学習の習慣化、そして何よりも、子供たちの「安定した心と元気な体」を育てることに協力をお願いします。

荻っ子のすがた（学力調査の結果から）

【国語】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
- 漢字を文の中で正しく使うこと - 図表等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること	- 情報と情報との関係付けの仕方、図等による語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと - 目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見付けること

【算数】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
- 角の大きさについて理解すること - 棒グラフから、項目間の関係を読み取ること	- 目的に応じて適切なグラフを選択して、量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる - 分数の加法について、共通する単位分数のいくつ分かを、数や言葉を用いて記述できる

【理科】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている - 問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること	- 身の周りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている - 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている - 発芽するために必要な条件に付いて、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる

確かな学力の育成に向けて

【国語】

- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き表し方を工夫するとに課題が見られました。自分の考えを書く際に、事実と感想、意見とを区別して書くよう意識付けします。また、キーワードを使ったり、字数制限を設けたりして学習をまとめる活動や、視点を与えて学習の振り返りを書く活動を、各教科の授業で取り入れていきます。
- 資料の中から自分に必要な情報を得ることや図や表から読み取ったことをまとめることに課題が見られました。同じテーマについて、本や新聞、インターネットから得た情報等を活用し、それらをまとめて報告する活動を他教科でも取り入れていきます。

【算数】

- ・算数の授業で学習したことを、普段の生活の場面で活用することに課題が見られました。授業で、身の周りにある物の形を活用して図形を学習したり、具体的な場面や必要感のある課題を設定したりすることを大切にしていきます。
- ・計算の仕方、考え方を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。順序立てて論理的に説明する、理由を付けて説明するといった活動を授業の中に多く取り入れて、力を高めていきたいと思います。

【理科】

- ・実験をする際に、条件を制御する方法の理解に課題が見られました。条件を制御した場合の結果を予想したり、実験を計画したりする時間を十分に確保し、目的意識をもって、実験することができるようにします。

調査問題から

(国語)

「あつ」
いあついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

○暑い ×熱い ×厚い

自分が書いた分を読み返し、習っている漢字を使って書き直す問題です。「暑い」は3年生で習う漢字ですが、4年生で習う「熱い」5年生で習う「厚い」との使い分けができるかが問われています。

「あつい」という言葉だけに注目するのではなく、その前後の文を読むことや文全体から意味を捉えることが大切です。また、言葉の意味を正確に理解し、普段の生活の中で適切に使うことが重要です。学校では、授業のノート、作文指導、連絡帳等あらゆる書く場面で、適切に漢字が使えるよう指導していきます。

自学ノートで漢字練習するのもおすすめです。例えば「暑い日にプールへ行く」のように例文づくりをしたり、「あついに、あついお茶を飲みながら、あつい本を読む」のように問題づくりをしたり、国語辞典で意味を調べて書き写したりといった学習がおすすめです。

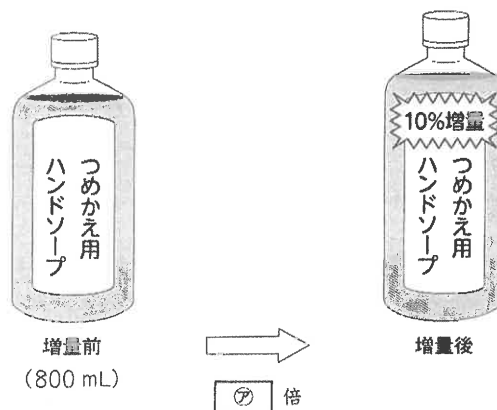
(算数)

「10%増量」の意味を解釈し、増量後が増量前の何倍の量になっているかを表すことができるかどうかをみる問題で、5年生で学習します。

増量前を100%とすると10%増量した後は110%となること基于、「百分率の110%は1.1倍である」と捉え直し表現することが必要となります。

日常生活でよくある「10%増量」「30%引き」などの百分率を使った表現を、倍を使った表現に直すことが大切で、授業でも、具体的な場面を取り入れて、理解が深まるようにしていきます。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。
増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

(理科)

粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができかどうかをみる問題で、4年生で学習します。

あかりさんが、「水のしみ込み方は、つぶの大きさによって違う」と考えた理由を問われているので、実験結果を数値を比較して説明すると同時に、つぶの大きさと水がしみ込む時間について述べる必要があります。ですから、「水がしみ込む時間は、Aは約4秒、Bは約11秒だから」や「水がしみ込む時間は、つぶが大きい方が短い」のどちらかだけでは片手落ちで、この両方を書かなければなりません。このように、理科では、数値を根拠として説明し表現することを重視しています。授業では、自分たちで問題をつくったり、結果を考察しまとめを考えたりする活動を取り入れています。

【結果】 あかりさん〈赤玉土に水がしみこむ時間〉

	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1回目	3秒	11秒
2回目	4秒	10秒
3回目	4秒	11秒

あかりさんは、【問題に対するまとめ】を考えています。

 【問題に対するまとめ】は、「水のしみ込み方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがあある」といえるね。

(2) あかりさんが下線部のようにまとめたわけを、上の【結果】を使って書きましょう。

荻っ子のすがた（児童質問紙調査の結果から）

◎ 基本的生活習慣が身に付いています

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた子供が多くいました。集中して勉強するには、元気な心と体が何より大切です。そのためにも、よい生活習慣を身に付け、継続してほしいと思います。

◎ 家庭での学習習慣が身に付いています

「土曜日や日曜日に、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した子供が多くいました。本校では、平成26年度から自学ノートや「荻っ子がんばり週間」の取組を始めています。そのため、家庭での学習習慣が身に付いている子供が多いようです。今後も、家庭での読書を含めた学習習慣の定着を進めていきたいと思ひます。



◎ 安心して学校生活を送っています

「人が困っているときは、進んで助けている」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」という質問に、肯定的な回答をした子供の割合が高かったです。学校や家庭での心の安定が、意欲的な学習につながっていると考えられます。

◎ 自分のよさを知り将来の夢をもっています

「自分には、よいところがあると思ひますか」「将来の夢や目標をもっていますか」という質問に、「当てはまる」と回答した子供の割合が高かったです。学力を高めるには、自分のよさを理解して、自分の目標に向かってがんばろうとする気持ちが根底にあることが重要です。学校でも、ご家庭でも多角的に子供のよさを捉えて伝えていくことで、子供たちの自己有用感を高めていきたいと思ひています。

健やかな心と体を育むために

1 嫌なこと・苦しいことに直面したときを成長のチャンスとしましょう

- ☆ あきらめない心と態度が育っている子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・自分で決めたことや課題は、辛くてもがんばる経験をさせましょう。
 - ・結果を出すことも大切ですが、努力する過程を成長につなげましょう。

2 認め励ます言葉を多くし、やる気や積極性につなげましょう

- ☆ 認められた経験が多く自尊感情の高い子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・自己有用感（人の役に立っていると感じる）や自尊感情（自分自身を価値ある存在と感じる）が高まるような関わりや言葉かけを大切にしましょう。
 - ・他との比較でなく、努力や進歩の様子を認め、励ましましょう。

3 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう

- ☆ 規則正しい生活をしている子供は正答率が高い傾向にあります。
 - ・決まった時刻の起床と就寝に努め、しっかりと睡眠時間を確保しましょう。
 - ・テレビの見方やゲームや動画等の利用時間について家族で話し合い、ルールを決めて守らせましょう。

4 規範意識や自分を律する心を育てましょう

- ☆ 学校のきまりや友達との約束を守る子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・ルールやマナー、約束の意味とその大切さを子供たちに伝えましょう。
 - ・様々な人と関わる経験を通して、社会や集団の一員であるという意識や自覚をもつことができるようにしましょう。

5 読書に親しむ環境を整えましょう

- ☆ 読書に親しんでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・本を読むことは文字に親しみ、世界を広げることにつながります。読書を楽しむ習慣を育てましょう。
 - ・新聞を読むことも社会への関心を高めたり、新しい言葉を習得したりするのに有効です。

6 自学ノートを積極的に活用しましょう

- ☆ 家庭学習に計画的に取り組んでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・低学年から、目当て（10分×学年）の時間を少しずつ伸ばすことで、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。
 - ・教科書を使って予習・復習（特に分からなかった問題を中心に）やテスト勉強に取り組みましょう。
 - ・自分でノートをまとめる練習も積み重ねましょう。

☆ 1 1 月の主な行事予定 ☆

- 1日(土) 荻生地区敬老会 ※全校でメッセージカードを作成し贈りました。
農業祭(～2日) 学校田体験作文発表(5年代表児童)
- 4日(火) 学校集金日
生活習慣チェック(～10日)
NIE取材(6年)
- 5日(水) すこやかタイム
職員研修会のため全校3限まで 下校 11:15 (給食はありません)
- 6日(木) 市美術館出前授業(6年)
- 7日(金) 保育所訪問(6年)
- 8日(土) 思考大会(6年児童参加者、桜井小学校にて)
- 10日(月) 委員会活動 6限
- 11日(火) 避難訓練(火災) 2限
- 12日(水) 校外学習(2年) 黒部宇奈月温泉駅へ 大休憩～4限
- 13日(木) 校外学習(3年) 黒部消防署へ 2限～3限
全校5限まで 下校 14:30
- 14日(金) 学習参観 2限
学校保健委員会並びにPTA教養講座 3限
- 15日(土) 黒部市幼小中美術展(～17日)
- 17日(月) 全校5限まで 下校 14:30
- 18日(火) 黒部地場産給食の日
市給食センター出前授業(6年) 6限
- 19日(水) 全校4限まで 下校 13:00
卒業アルバム写真撮影(集合・個人)
- 20日(木) フレンド集会
カターレ教室(1・2年) 3限～4限
- 21日(金) 黒部市小学校音楽会(5・6年) 午前
卒業アルバム写真撮影(委員会・クラブ)
クラブ活動 6限
- 22日(土) 善行賞表彰式並びに活動実践意見発表大会(6年代表児童)
- 25日(火) 居住地校交流学习(3年)
- 26日(水) 「剣の山」視聴(6年)
全校5限まで 下校 14:30
- 28日(金) フレンド集会

※今月のSC(スクール・カウンセラー)相談日は5日(水)、12日(水)、26日(水)です。
SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)相談日は10日(月)です。

12月の主な予定

- 4日(木) 個別懇談会1日目
- 5日(金) 個別懇談会2日目
- 17日(水) 地区児童会・集団下校
- 24日(水) 第2学期終業式
- 25日(木) 冬休み(～1/7)

